

上用賀公園拡張整備事業
基本計画（素案）への区民意見募集及び区の考え方

1 意見募集概要

- (1) 募集期間 令和5年6月1日～6月21日
 (2) 周知方法 区のおしらせ6月1日号にて周知のうえ、ホームページ上での閲覧
 意見提出者 10人（内訳：オンライン回答8人、手紙2人）
 (3) 意見数 意見数 22件

2 意見の概要及び区の考え方

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
1	1	「令和12年開設」ということは、まだ7年先のことで、何故、そんなに時間がかかるのか、不思議に思う。何故、もっと早く開設できないのか？「お役所仕事」に陥っていないかなどもう一度見直すべきである。民間の感覚から言うと、この半分の期間で可能だと思えるし、多くの区民もそれを望んでいると思う。	<p>事業スケジュールにつきまして、現在は基本計画の検討段階であり、今後設計・施工と段階的に整備をまいります。</p> <p>区としては、時間をかけて地域の方のご意見をお伺いしながら整備を行う必要があると考えており、スポーツ施設も含めた地区公園として地域の皆様に未永く愛される施設にしていきたいと考えております。</p> <p>ご指摘いただいている開設時期につきましては、令和10年度以降、工事が完了した場所から順次開設していくことを検討しております。また、令和5年7月より敷地の一部を暫定的に広場として開放しており、今後も定期的にオープンパークを行う予定です。整備工事までの間もできるだけ皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>
2	2	これまで、何度かアンケートに回答して参りました。災害や防災に備えた設備があることはとても良い事だと思います。災害広場に関して言わせていただくと、オープンスペースとされていますが普段は何も活用されないということでしょうか。活用法をアナウンスする必要があると思います。多目的広場とされる部分が、防災広場でよくないでしょうか。私はずっとテニスコートを作って欲しいと熱望して参りましたが、どうもそのようなスペースは全くもって除外されているように感じます。近隣の皆様からの色々なご要望に対して、このような理由でそれは却下されたとの回答があってもいいのではと感じました。ハードコートなら災害時も活用出来ますし、勿論オムニコートでも災害時とあらば使用出来ると思うのですが、難しいのでしょうか。	<p>防災広場につきましては、災害発生時、救命活動や物資輸送等に用いるためのヘリコプターが着陸可能なオープンスペースとすることを計画しております。また、必要に応じて警察・消防・自衛隊等の活動拠点として活用することも想定しております。平時については、子ども広場と一体の広場として、子ども達が遊ぶスペースや大人がヨガ等を行うスペース、イベントなどでの使用など、多様な使い方ができる広場として整備を検討しております。</p> <p>多目的広場につきましては、ボールの飛び出し防止策として防球ネットを建てる必要がございます。そのため、上記ヘリポート等で必要となるオープンスペースを確保することができず、防災広場とすることは難しいため、ご理解いただければ幸いです。</p> <p>なお、多目的広場をテニスコートとして整備することにつきましては、区内のテニスコートの利用率の高さや多くの要望があることは理解しております。全ての競技に対応することは難しいですが、テニスやサッカー、キャッチボールやボール遊びなど、多種目のスポーツ、多目的な使用ができるよう、引き続き検討してまいります。</p>

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
3	12	屋外のバスケットコート（特に3on3用）が必要と思います。区内では駒沢公園にありますがこの近辺には総合運動場に半面しかありません。それもスケートボードと共有なのでバスケットコート利用者が子供の場合など無視してバスケットの方まで出張って遊んでいます。昨今バスケット選手の活躍が目覚ましく、バスケットさえあれば遊べる競技なのでぜひとももっとコートを増やすべきだとおみます。体育館のコートでは敷居が高いのです。NYの金網で囲ったバスケットコートが良い例だと思います。誰でもいつでも（夜間は除いた方が良いでしょう）利用できることが望ましいと思います。ご検討ください。	多目的広場においてはバスケットボールを含め多種目のスポーツに使用ができるよう引き続き検討してまいります。
4	全部	世田谷区は犬への優しさが少ないと感じます ドッグランが欲しいです 無理ならもう少し犬への配慮もして欲しいです 散歩のしやすい広い道とかリードをつけてでも走れる広い場所 芦花公園のドッグランも小さすぎてビックリしました	世田谷区立の公園においては、十分な広さが確保できないことから常設のドッグランの設置については難しいと考えております。 現状フンの放置やノーリード等の飼い犬をめぐる問題があるなかで、それらの問題解決とマナー向上を図り、公園利用者が快適に過ごせる公園づくりに努めてまいります。
5	-	関東中央病院と既設の上用賀公園まで安全に往来できるトンネルなどがほしい。	上用賀公園拡張計画地の周辺道路の安全対策については、安全な横断を確保するため、横断歩道の設置など、公園の利用上、必要な箇所の安全対策について、交通管理者及び道路管理者と協議を進めてまいります。
6	-	スポーツ施設は不要では？ただのサッカー場など日常利用ができない場所は欲しくない	世田谷区では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%以上にすることを目標としていますが、令和3年度時点では約46%に留まっています。加えて、スポーツ施設は利用率、抽選倍率ともに近隣区市と比較して高く、需要に対して応え切れていない現状がございます。よって、区としてスポーツ場の確保は必要だと考えています。 なお、多目的広場についてはスポーツ利用者以外にも地域の子どもの利用等も想定しており、幅広い方が利用可能な運用を検討いたします。
7	-	異常気象（水害）時の避難所や、ミサイル等の攻撃があった際に逃げ込める安全な場所を可能であれば地下に設けてほしい。	区では、水害時の避難所として、一部の区立小中学校や地区会館等を指定しています。また、ミサイル等による武力攻撃事態等に備えて、国民保護法に基づく緊急一時避難施設を東京都が指定しています（区内186か所、区立小中学校や地区会館等が該当）。 本計画地の各種避難所等への指定については、今後検討させていただきます。
8	-	災害時の際対応できる簡単な医療施設がほしい。	区では、災害状況に応じて一部の区立小中学校に応急措置を行うことができる医療救護所を設置します。また、隣接する関東中央病院の敷地内に緊急医療救護所が開設されます。現段階では災害時に本計画地を医療施設にする計画はありませんが、いただいたご意見に関しては今後の参考とさせていただきます。

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
9	-	馬事公苑の開放が始まるが、緑が8～9割減ってしまった。緑を踏まえたプランにしてほしい。	本計画では、「みどりをつなぎ、ひろげる空間づくり」を3つの基本方針のうちの一つとして掲げております。公園整備にあたっては、既存樹木の保全や、新規植栽により、緑豊かな空間を創出してまいります。
10	-	ファミリーパーク内に犬を入れないでほしい。	公園の利用ルールについては、今後、検討してまいります。公園を利用される誰もが快適に過ごせる公園づくりに努めてまいります。
11	-	<p>公園内乗り入れ車両による交通量増加を心配する意見と、体育館による景観を心配する意見を統合して、次のように考えました。</p> <p>周囲に病院と小学校があるのに、西側に道路を作る場合は、駐車台数を10台以下にする。代わりに充分大きなバス乗り場、タクシー停車場を設け、西側道路に渋滞が起こらないようにする。</p> <p>駐車場が無い分、3階の体育館を2階建てにして、高さを押さえる。</p> <p>体育館北側は日照の問題があるので、一番南側に体育館を建て、その北側をバス停、タクシー、一般車両の停車場にする。その場合、入り口は西側中央あたりとなる。渋滞を避けるために、北側よりの左折のみとして、右折は禁止する。</p>	<p>駐車台数につきまして、基本的には公共交通機関での来場を案内していくことを想定しておりますが、区民体育大会開催時等には車で来場されることが想定されます。そういった場合に駐車台数が少ないと駐車場空き待ちの列の発生や路上駐車などの発生など、渋滞が発生する要因になると考えております。そのため、周辺の住環境や交通に影響が出ないようにある程度駐車台数が必要だと考えております。</p> <p>上賀公園拡張計画地の南西側は、地域の防災に資する広場にするということで用地買収を実施した経緯がございます。そのため、オープンスペースの広場として設える必要がございますので、体育館等の建築物を建てることができません。一方で体育館については、災害時、アリーナを物資集積所として使用すること等を想定しており、災害時の体育館と防災広場、関東中央病院と連携していくことを想定し、西側に配置する必要がございます。</p> <p>以上のことから、現在の配置で想定しておりますので、ご理解いただければ幸いです。</p> <p>一方で交通量増加に関してはいただいたご意見を踏まえて、左折出庫の徹底や右折入庫禁止を含め、運用方法や交通量のシミュレーションを検討し最善な方法で検討してまいります。</p>
12	48	ヘリポートはこの計画には危険過ぎます。計画の盛り込み過ぎではないでしょうか？	ヘリポートにつきましては、平時の使用をするわけではなく、災害時などの緊急時に利用することを想定しています。また、実際に使用する際は周辺の安全確保を実施した上で利用することを想定しておりますので、ご理解いただければと存じます。
13	-	うめとびあのような軽食を利用できる大きな休憩所が欲しい。	レストランや売店等の設置は検討しておりますが、自由に飲食できるスペースの設置についても今後検討してまいります。また、公園内においても気軽に休憩できるベンチや日陰の休憩スペースの設置を検討いたします。
14	-	ふじみ荘のような高齢者や子どもも利用できる風呂を作ってほしい。使用にあたっての年齢、時間の制限をなくせば採算は取れるはず。	体育館に250㎡程度の面積の浴室を設置予定です。利用方法や運用方法などは今後検討してまいります。

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
15	39	<p>体育館の追加機能（駐車場等）の変更を求めます。周りから見た体育館の建物高さを抑えることにより圧迫感を和らげる対応は、ワークショップでも強く出された意見でもあり、歓迎すべきものと思います。しかしながら、その地下部分に駐車場等を配置することには以下の理由より反対です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 半地下化により高さが抑えられ圧迫感が軽減される ところが、駐車場を配置することによってその効果は半減します。駐車場等の高さ分は駐車場等を無くすことによって 低くすべきです。 2. 地下駐車場は価格上昇に繋がります。もちろん、地価の通路・車庫部分も地下工事等によりコスト上昇は大きいのですが、さらにグラウンドレベルから地下へのスロープ（車路）や 階段等が必要となり、平面駐車場と比べて余計に負担となってコスト上昇します。 3. 高齢者の問題も含め、運転技術が十分でない方々の運転も想定しておかなくてはなりません、特に壁面に囲われたスロープ（車路）は運転し難く、危険だと言われていいます。平面駐車場に比べれば、その安全性は比較にならない程問題です。 <p>次に代替案を提案したいと思います。</p> <p>体育館と体育館北広場とを入れ替えればどうでしょう？体育館が北側隣のマンション建物に近づきますが、駐車場分は高さが抑えられていますので、屋根形状や壁面の工夫 等をすれば景観的な印象や歓声等騒音の発生に関しては和らげることができると思います。次頁添付図をご参照ください。</p> <p>体育館の南側に青空駐車場を持ってくることにより、ここに駐車する車をコントロールできれば、空地としても、南の防災広場と一体的に使えますし、関東中央病院との連携も容易かと思われまます。また、防災備蓄倉庫も、この南広場（駐車場）に面して設ければ、出入れし易さが格段に上昇します（地下に倉庫があると出入れの他に上下運搬等が必要になってきます）。問題は、台数を確保できるか、出入口の位置（歩行者・自転車等と重なったりしないか）と駐車中の車をコントロールできるかです。50台程度 でしたら 1,500 m²もあれば十分ですから、余裕でしょう。車の出入口は、自由度 があるので問題なく処理できると思います。コントロールに関しては、入庫時に鍵を預かる方式にすればよいと思います。</p> <p>そうすれば、近隣等からの不要な迷惑駐車防止にもなると思います。なお、防災倉庫の面積が不足する場合は、防災広場の西側及び南側の道路に面した位置に設ければよいと思います。出入れは容易です。</p> <p>設計上要望しておきたいのは、駐車場に車が入ってきた場合、人はもちろんボールや道具等を下ろすことが考えられますので、充分な荷さばきのスペースを体育館前に設けることが望まれます。このスペースの上部には雨よけの庇を設けると安心です。また、この一角の停め易いところに身体障がい者等が利用する駐車区画を設けていただきたい。この際、庇を大きく覆うようにして、車の乗降時に雨の影響等がないように配慮すべきだと思います。なお、（素案）に書かれている「地上部の有効活用や車椅子利用者が乗降時に風雨等をしのげるようにするなどを考慮し、計画地の地形を活かしながら体育館地下に整備します。」（p60については、これが1Fであればその通りなのですが、地下の場合は地上に出る、昇降設備まで移動してそれを使って地上へ出ないといけない等、難があるのでお勧めではないということになります。</p> <p>以上、よろしく申し上げます。</p>	<p>駐車場の地下化については近隣住民の皆様への配慮や渋滞対策等で必要な駐車台数を確保するため、必要なことと考えております。</p> <p>体育館については、災害時、アリーナを物資集積所として使用すること、防災広場、関東中央病院と連携していくことを想定し、防災広場と同じフロアレベルに隣接して配置する必要があることに加え、過去の検討の中で近隣住民の皆様への影響やご意見等も考慮した結果、現在のゾーニング案に至った経緯があります。</p> <p>また、パラスポーツの団体利用を想定し、車いす利用者が雨風等にも影響を受けずに利用できるにすることは重要なことだと認識しております。屋外駐車場への雨よけの庇を設置することについては建蔽率の関係上難しく、駐車場は地下へ配置する必要があります。</p> <p>なお、ご指摘いただいた安全性の確保については、最大限に配慮して計画してまいります。</p>

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
16	36	<p>基本構想で第3 順位の「防災」が基本計画素案で第1位に「格上げ」されているのに、そのための説明に説得力がないと思います。そのため、未消化な、実態が伴わない掛け声で終わるのではないかと懸念があります。重要ですので、体制をつくって検討していくべきではないでしょうか？すでに体制ができあがっていて検討が進んでいるのであれば、脱帽、お詫びします。）</p>	<p>基本構想時から、広域避難場所であることや緊急輸送道路である世田谷通りに隣接していることから防災の観点も重要であると考えておりました。一方であくまでも公園ということ、また近隣に影響の大きいスポーツ施設を検討していることを踏まえて、「みどり・スポーツ・防災」という並びになっておりました。</p> <p>今回、基本計画策定に向けて検討を進めていく中で、昨年度実施した住民アンケートや第3回ワークショップ時に、災害時にも活用できる防災機能があることが重要というご意見や、区としての位置づけ（重要度）を示すべきとのご意見もいただいてまいりました。これまでにいただいてきたご意見を踏まえ、検討を進めた結果、緊急輸送道路である世田谷通りに面していることや、世田谷区のほぼ中心部に位置していることから、全区的な物資輸送拠点としての活用やボランティア等の活動拠点としての機能などを備える公園として整備を行う方針となりました。また区として重要な拠点であると考えていることを示していくため、本計画素案では「防災・みどり・スポーツ」という並びで取組方針を策定させていただきました。ただし、3つの要素の優先順位や重要度順ということではなく、区としては3つの要素全てが重要であり、3つの要素を調和・連携させていく必要があると考えておりますので、ご理解いただければと存じます。</p> <p>なお、検討体制につきましては、スポーツ施設課、みどり政策課に加え、災害対策課とも連携しており、引き続き区の防災拠点としての機能・利活用を検討してまいります。</p>
17	48	<p>「防災拠点づくり」は大事です。しかし、何故 防災倉庫の面積が、300㎡から2,000㎡に増えたのでしょうかこの規模は大きいから問題です。使いこなせる規模でしょうか？数字だけが独り歩きしていませんか？既に指摘しましたが、防災倉庫が地下にあるということは、その出し入れ、小運搬に多くの労力を割かれてしまうことになるので、人材が集まらなければ宝の持ち腐りになりかねません。これは配置計画の問題ですのでここで止めますが、規模の問題は体育館にも及ぶ恐れがあります。ワークショップ等で説明のあった内容からすれば、例えばヘリポートをどこに造るか、関東中央病院とはどのような連携になるのか、あるいは緊急時の運営体制は、等に対しての説明は、第3節防災計画をみても納得できるものではありません。今後議論を詰めていくとしても、地元や有志を含み、有能なコンサルタントを核に、オープンな検討体制を早急につくっていただきたいと思います。</p>	<p>防災倉庫につきましては、当初は近隣の避難所運営用防災倉庫を補完するための倉庫を想定しておりましたが、全区的な防災拠点としての検討を進めていく中で、これまでの区の防災倉庫には備蓄されていない段ボールベッドや間仕切り（テント）など、長期にわたる可能性がある避難所生活の負担を軽減するための物資等を保管することを考えており、そのために必要な広さを検討した結果、2,000㎡の防災倉庫が必要という結果になりました。</p> <p>物資を運搬する車両は地下に進入できる計画とし、本計画地が世田谷区の中心部に位置していることから、各地域への効率的な運搬も可能であると考えております。</p> <p>ヘリコプターの離着陸場につきましては、発災時に関東中央病院と連携した救急救助を行うため、オープンスペースを設ける予定である防災広場に設置します。</p> <p>関東中央病院との連携につきましては、具体的な内容は今後検討が必要ですが、先述のヘリポートとしての連携や災害救護活動等での連携など発災時の連携の他、平時からの連携も視野に協議を進めてまいります。</p> <p>緊急時の運営体制につきましては、世田谷区職員の参集や災害時協力協定に基づく協定締結団体の協力、体育館が併設されることから施設管理者による発災直後の対応なども検討してまいります。</p> <p>検討体制につきましては、貴重なご意見として参考にさせていただきます。今後検討させていただきます。</p>

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
18	36	公園づくりの第1順位に、災害時を想定するとの「防災公園」がくることは、上野公園拡張事業に相応しくはないと思います。やはり、スポーツ公園、でしょう。	上野公園拡張計画地は、世田谷区のほぼ中央部に位置し、緊急輸送道路である世田谷通りに面しているほか、広域避難場所としても指定されていることを踏まえ、区の防災拠点としての機能を備えた公園にしていこうと考えております。区として防災も重要であることを示す必要があると考え、「防災・みどり・スポーツ」という並びにしておりますが、3つの要素全てが重要であり、3つの要素を調和・連携させていく必要があると考えております。引き続きスポーツ機能も防災機能も備えた公園として検討してまいりますので、ご理解いただければと存じます。
19	49	雨水流出対策は非常に重要です。対象地は高低差のある斜面地でもあり、全体的にグリーンインフラを活用した浸透性・保水力を期待する植栽等は当然のこと、昨今のような連続降水帯等によってもたらされる豪雨に対しては、随所に、地下に貯留できる設備を設ける必要が出てくると思います。体育館の基礎部分は、雨水が直接流れ込み、貯留できるプールにすべきです。	雨水流出対策につきましては、昨年度までの検討の中でも多くのご意見をいただいております。重要な課題であると区としても認識しております。本拡張計画地は、世田谷区豪雨対策行動計画において流域対策推進地区に位置づけられていることから、各流域豪雨対策計画において設定された東京都の示す単位対策量の基準を上回る雨水流出抑制を図るため、適切な浸透施設・貯留施設を設置します。また、グリーンインフラの観点も踏まえ、雨水流出抑制施設を検討してまいります。
20	36	みどりは、基本構想の基本的な考えで みどりをつなぎ・ひろげる空間づくりと第1順位に挙げられている重要なものです。それが、整備コンセプトから抜け落ちるなんて、信じられません。私の見る限り、完全に脱落しています。意図的なのでしょうかね？ 安心、交流、健康をつくるといっしょに、みどりをつくる、を入れていただきたいと思います。災害にも役立つことは今や自明ですし、まとまったみどりであれば周辺の気温を下げたり木陰をつくることによってヒートアイランドの防止もなります。炭素を吸収することも重要です、生物多様性を復活・維持していくためにも不可欠な存在です。	頂いたご意見のとおり、「みどり」は本計画において必要不可欠であると認識しております。みどり豊かな空間を創出することで、人々が憩い、交流する空間や災害時の安全な避難場所の確保が可能となります。 整備コンセプトにつきましては、「みどり」を踏まえたものに反映するよう検討してまいります。
21	56	基本構想では、7-1 主要施設の考え方の中で、体育館の観客席は250席程度と明記されていて、ワークショップの議論では観客席が果たして必要かといったことも議論されましたし、何よりも、観客席が増えることによって車での来場者が増えるため、渋滞等の問題もあって避けるべくではないか、等の意見が多かったように記憶しています。それが、600席以上となって、その説明が、様々な公式試合が可能なスポーツ施設のなかで、「観客席は観戦スペースとしてだけでなく、大会参加者の待機場所として、600席以上の席数を確保します。」とあるだけです。ただ、体育館として必要なものかもしれませんので、倍以上となった理由説明は、説得力のあるものとして明示していただく必要があると思います。	体育館について、区の拠点スポーツ施設として全区的なスポーツ大会の開催を想定していることを踏まえ総合運動場、大蔵第二運動場と同規模以上の規模を確保する必要があるため、600席以上の座席数が必要であると考えております。 渋滞等の懸念については、基本的には公共交通機関での来場案内を徹底していくことに加え、スポーツ大会の開催時等には渋滞ができることを防ぐために地上部を含めて、必要総定数を割り出して十分な駐車スペースを確保いたします。

NO.	意見の 該当ページ	意見	区の考え方
22	-	<p>施設づくりはみどりづくりでもある、と考えるべきでそれを設計思想として具体的に反映していただきたいと思います。例えば、駐車場については、体育館地下に設けることが問題であることを指摘した上で青空駐車場を代替案として提案していますが、その舗装部分は芝生等の緑化が可能ですし、このことによって雨水の土壌への浸透が促されます。同時に、アスファルト面によるヒートアイランド化と雨水流出を防ぐことに繋がります。また、周囲の住環境維持のために、例えば多目的広場を道路から十分な離隔をとることが考えられていますが、ここでもみどりを多用することで、中高木と低木の植栽帯等の緑地帯を整備することで、景観的にも優しく、音の拡散にも僅かながら効果があるようです。そして、何と言っても、既存と言いますか現在の姿に類似した景観を保全ないしは再現することになれば、近隣住民の方々にとっては安心感が湧いてくると思います。お願いしたいことがあります。</p> <p>(1) できることであれば、歩くことの大切さが実感できるような全体構成をお願いしたいと思います。</p> <p>それは、全体の施設配置等に影響するものではなく、考え方として持っていただくことによって、施設内のつくり方や外構・造園等に、散策路やウォーキングトレイル等の設計にも、各所に休憩所を設ける等によって歩くことが楽しいと感じることができるような環境づくりが可能となると考えるからです。そして、ウォーキングトレーナーやモデル歩きのコーチングだったり、歩くことの専門家を集めた「ジム」をつくれれば注目度も高くなる上に、区民が気軽に歩くことの悩み相談や改善方取得等に訪れることが可能になると思うのです。リハビリもあるでしょう。多様な人が多様な目的をもって、生き生きと健康的な生活を目指して集まってくる公園になると思います。</p> <p>(2) このような「歩くことの拠点」ができるならば、コーチングスタッフやトレーナー常駐することによって、区民の来園頻度を高めることに繋がると思います。園内に設けられる種々の「運動施設」も、使い方がわからないで閉古鳥が鳴いてしまうことにもなりかねませんし、使い方を教えてくれる人がいてくれるということになると安心して出かけていこうと思う区民も増えると思います。こういった仕組みをもつためには、しっかりした団体が核になる必要があります。運営母体が大事になってきます。Park PFIの良さを生かし、世田谷版として、住民参加による選定から運営までを行う仕組みをつくってははどうでしょうか？</p> <p>(3) この敷地は立地条件が良く、つくり方次第ではいろいろな収益事業が成立する可能性があると思います。北側の世田谷通りに面した一角は一等地です。しかも、緊急車用通路を確保した上でも十分な敷地面積があります。大きなジムやスパ等をつくってもまだまだ可能です。ところが、肝心の公園内では容積率等の建築制限があって難しいと思います。そこで、民間だったら考える手法で恐縮ですが、世田谷通りに面した一角を公園区域から外す、ということは考えられないでしょうか？別敷地にして、運用上は一体として管理する。これが可能となると、PFIに応募する民間事業者も豊富な知恵を出してくれる様な気がするのですが、以上、長々と失礼しました。よろしくお願いします。</p>	<p>敷地全体を通し、健康づくりに資するウォーキング・ランニング等が可能な園路計画を検討しております。具体的な休憩場所や、園路を含めた公園の利用方法、ご提案いただいた区域の変更等については、今後、設計を進めていく中で、検討してまいります。</p>